

独立行政法人国立文化財機構契約監視委員会（令和 7 年度第 1 回）議事概要

開催日及び場所		令和 7 年 11 月 18 日（火） 東京国立博物館平成館 3 階第 1 会議室	
出席委員 （敬称略）		○委員長 西浦 忠輝（特定非営利活動法人文化財保存支援機構 副理事長） ○委員 清水 功（公益財団法人橘秋子記念財団 事務局長／公益社団法人落語芸術協会 理事） 山田 美代子（公認会計士） 溝内 健介（清水法律事務所 弁護士） 久留島 典子（独立行政法人国立文化財機構 監事） 稲垣 正人（独立行政法人国立文化財機構 監事）	
審議対象期間		令和 7 年 4 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日	
個別審査対象案件		112 件	○議 事 （報告事項） 1. 令和 6 年度第 2 回契約監視委員会の実施結果について 2. 令和 7 年度上半期契約実績について （協議事項） 1. 令和 7 年度（4～9 月期）契約点検（競争性のない随意契約） 2. 令和 7 年度（4～9 月期）契約点検（一者応札・一者応募） 3. 令和 7 年度（4～9 月期）契約点検（その他案件）
	令和 7 年度（4～9 月期）契約 （競争性のない随意契約）	28 件	
	令和 7 年度（4～9 月期）契約 （一者応札・一者応募）	39 件	
	令和 7 年度（4～9 月期）契約 （その他案件）	45 件	

※委員からの意見・質問、それに対する回答及び審議総括については、【別紙 1】のとおり

【別紙 1】

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>(報告事項)</p> <p>1. 令和 6 年度第 2 回契約監視委員会の実施結果について</p> <p>特段の質問事項はなし</p> <p>2. 令和 7 年度上半期契約実績について</p> <p>・展示ケースの LED 改修案件が競争性のない随意契約の金額目標未達の主要因であることは理解するが、それ以外にも全体的に状況が良くないのではないか。単発の案件を言い訳にするのではなく、根本的な改善ポイントを明確にし、来年度以降の改善につなげてほしい。</p>	<p>・個別の案件分析に留まらず、全体的な傾向を把握し、今後の具体的な改善策の検討に繋げていく。</p>
<p>(協議事項)</p> <p>1. 令和 7 年度（4～9 月期）契約（競争性のない随意契約）の点検</p> <p>（1）該当の契約 28 件について</p> <p>・既存機器・システムの導入を一度契約すると将来にわたって、保守・改修等の随意契約が継続してしまう構造的な問題はないか。最初の契約時点で、将来の更新や改修まで見据えた調達方法を検討すべきではないか。</p> <p>（2）総括</p> <p>令和 7 年度（4～9 月期）契約（競争性のない随意契約）について、妥当であると判断する。</p> <p>2. 令和 7 年度（4～9 月期）契約（一者応札・一者応募）の点検</p> <p>（1）該当の契約 39 件について</p> <p>・一者応札の理由として「仕様書の受領者が一社</p>	<p>・それぞれの契約毎に事情はあるが、参考にさせていただく。</p> <p>・業者側の事情と片付けるのではなく、周知方法の</p>

